

## インド太平洋戦略を踏まえた海上保安機関への 能力向上支援における具体的連携策の研究

### 1. 調査目的

本調査研究は、海上保安分野の能力向上支援において、米国、豪州、インドとの連携の可能性を検討していくための政策提言を実施することを目的としている。

政策提言を実施する前提として、支援実施国である米国、豪州、インドに関する基礎調査及び、被支援国であるフィリピン、インドネシア、ベトナムに関する基礎調査の必要性を認識し、支援国間の連携はさることながら、関係国の外交方針などを理解した上で、被支援国にとって受入れ可能な支援の在り方について検討していくことが必要であることから、これらの国々に関する調査を順次進めていくこととしている。なお、本調査においては支援実施国である米国及びインドに焦点を当てている。

### 2. 調査内容及び結果

#### (1) インド

本調査においては、インドとの連携を検討する上で前提となるインドの基本的な外交方針について説明をするとともに、インドと主要国の関係やインド国内におけるインド沿岸警備隊 (ICG) を巡る情勢、そして組織詳細に関する調査を実施するとともに、インド沿岸警備隊との潜在的な協力分野について考察を行った。

#### (2) 米国

米国の安全保障分野における海外支援システムを解説するため、これら事業の実施主体となっている米国国務省及び国防総省の組織概要に加え、両省内において海上保安分野の能力向上支援活動の中心的組織について説明を行った。

また、米国の実施している安全保障協力プログラムの種別、規模、推移について説明を実施する

とともに、聞き取り調査をベースとした実際に被支援国において支援が実施されるまでの調整過程等について説明を行っている。

#### (3) USCG 組織概要

米国沿岸警備隊 (USCG) 組織に関する概要だけに留まらない詳細調査を実施した。予算や勢力に加え、USCG 本庁組織については各部、各課、各係に至るまで、それぞれの所掌を含めた解説を実施するとともに、USCG が有する教育制度及び研修施設などについて説明を加えている。

### 3. おわりに

海上保安分野の能力向上支援において、米国、豪州、インドとの連携を進めていくにあたり、各国の基礎情報である外交政策、他国支援メカニズム、支援実施組織詳細等について理解を進めていくことは必要不可欠である。

今次調査においては、米国及びインドに焦点をあて、海上保安庁が国際協力を進めていくにあたり、把握する必要があると思われる情報を収集分析を行った。今後、今年度フォローできていない国々についても順次焦点をあて調査を進めていくことにより、海上保安庁が各国との協力を進めていく上での検討の一助となることを願うとともに、引き続きの貢献をしていきたい。

報告書名：

インド太平洋戦略を踏まえた海上保安機関への能力向上支援における具体的連携策の研究 報告書  
(資料番号 310001)

本文：A 4版 1 0 9 頁

報告書目次：

1. 序文
- 1.1. 調査研究の目的
- 1.2. 調査研究項及び内容
- 1.3. USCG 組織詳細 (別冊)
2. インド
- 2.1. アメリカ、日本、オーストラリア、中国、ASEAN に対するインドの戦略的政策
- 2.2. インドとアメリカの関係
- 2.3. インドとオーストラリアの関係
- 2.4. インドと日本の関係
- 2.5. インドと ASEAN の関係
- 2.6. 中国とインドとの関係
- 2.7. インド沿岸警備隊 (ICG)
- 2.8. 予算
- 2.9. 教育制度
- 2.10. 近代化と装備
- 2.11. 国防省との関係
- 2.12. ICG の課題と評価
- 2.13. 日本とインドの海洋分野における潜在的な協力分野
3. 米国における国際協力支援制度
- 3.1. 米国の政府組織について
- 3.2. Department of State (DOS、国務省)
- 3.3. U. S. Agency for International Development (USAID、国際開発庁)
- 3.4. Department of State (DoD、国防総省)
- 3.5. 安全保障支援プログラム
- 3.6. 安全保障支援予算動向の概要
- 3.7. DOS 及び USAID の安全保障支援予算
- 3.8. DOD 安全保障協力の上位歳出予算および被援助国
- 3.9. 米国における具体の支援方針決定メカニズム
- 3.10. 米国等との連携深化に関する検討事項

報告書名：

米国沿岸警備隊 (US Coast Guard) 組織概要 別冊 参考資料  
(資料番号 310002)

本文：A 4版 1 2 1 頁

報告書目次：

1. 序章
2. USCG 概要
- 2.1. USCG の使命
- 2.2. USCG の実施業務
- 2.3. 2018 年度活動実績
- 2.4. USCG 勢力概観
3. USCG 本庁組織
- 3.1. Deputy Commandant for Operations (CG-DCO、運用担当副長官)
- 3.2. Deputy Commandant for Mission Support (DCMS) (業務支援担当副長官)
4. USCG 教育システム
- 4.1. Enlisted Active-Duty (新兵)
- 4.2. Participate with Prior Service (従軍経験者採用)
- 4.3. Officer Active-Duty (現役士官)
- 4.4. College Student Pre-Commissioning Initiative (CSPI、大学生事前任命イニシアティブ) (奨学金プログラム)
- 4.5. CSPI Student Loan Repayment Program (CSPI-SLRP、CSPI 学生ローン返済プログラム)
- 4.6. Officer Candidate Course (OCS、士官候補生学校)
- 4.7. ウィルクス航空イニシアティブ (WiFI)
- 4.8. Direct Commission Program (直接任命プログラム)

【担当者名：岡本 泰宏、奥寺 章】

【本調査は、日本財団の助成金を受けて実施したものである。】



## 一般財団法人運輸総合研究所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリンビル

TEL : 03-5470-8405 FAX : 03-5470-8401